

## 困難を乗り越えるために。



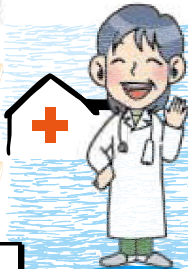
訪問看護師・介護福祉士

イザというとき、  
患者さんのもとに駆けつけてくれます



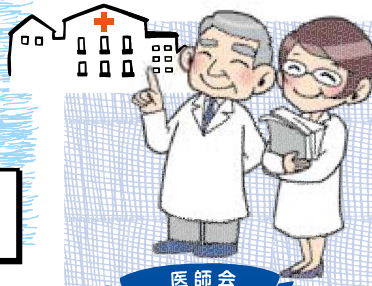
ケアマネジャー

多職種のまとめ役なので、  
イザというときに相談できます



在宅医療開業医

同じ仲間だからこそ、  
お互いに相談しやすいです



医師会

診療について専門的に  
質問・相談できます

などなど

なるほど!

困ったなって感じる前に  
みんなでサポート  
合っているんですね

そのとおり!

在宅医療は  
1人じゃないんだよ

じゃーん!!

## インタビュー 6

## 困ったときの相談先はどこですか?

初めての在宅医療への挑戦ともなれば、いろいろと困ることがあるかもしれません。  
ここではそうした悩みに対する在宅医療の現場の声を紹介します。

Q. 困ったときはどこに相談していましたか?

A. 「特に「困った」という問題はないですね。」「診療で困ることは少ないですね。」  
…と、なんとほとんどの先生が特に「困った」ということを感じておられませんでした。

Q. …本当に困らないんですか?

A. 「そもそも、在宅医療というのは、患者さんの生活の安心を提供するための一つの手段だと思うんです。そして、医師はそのチームの一員にすぎません。急性期や専門性の高い疾患の患者さんは在宅ではなく病院が対応してくれるので、在宅医療では緊急時というのがほとんどありません。「特別な医療をするわけではない」ということが前提にあります。1人の医師で頑張らなきゃいけない、というイメージがあるかもしれませんが、実際は介護のプロであるケアマネジャーを中心にチームで取り組むので、1人で悩むということはないですよ。」

## 豊富なサポート資源があるから困らない!!

### 開業医ネットワークが充実!

最近ではインターネット上のプライマリケア用の相談コーナーで聞くと、全国の先生が返信をくれます。家庭医のメーリングリストで聞くこともありますね。月1回の集まりに参加する家庭医の先生や訪問歯科の先生ともネットワークが自然にできますよ。その他にも地域ごとの在宅医療関係者のメーリングリストを活用したりしますね。また、「淡海あさがおネット」や、「びわ湖メディカルネット」という医療情報共有のネットワークシステムが最近始動したばかりで、今後はこれにも期待しているところです。



### 病院

病院に通っていた場合は主治医の意見を聞くことも。それ以外でも病院との連携は大切です。



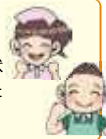
### 医師会

保険診療上の問題は医師会に相談したりします。診療に関する質問も、医師会に相談することができます。



### 多職種のネットワーク

多職種のみさんには助けられればなし。状態の変化を早期発見できるのは、そういった方々のおかげです。



### 行政(近畿厚生局)

開業にあたっての事務的手続きやよくわからないことは、ホームページを見ました。大体分かりますよ。



### インタビューを終えて

当初困ったことを感じておられない先生方が多くいらっしゃったことには驚きました。しかしながら、在宅医療の意義、サポートして下さる人の多様さを知ること、先生方が多くの方々と協力して困難なことでも乗り越えてこられたということがよくわかりました。



## 7 在宅医療を行うにあたって障害となったことは何ですか？

在宅医の先生方が、実際に在宅医療を始めて気付いた制度や資源上の障害と、それをどう乗り越えてきたのかについて伺いました。

### 1. 公的サービスの隙間

医療保険、介護保険といった公的サービスはできることが制度で決められていて、どうしてもサービスに隙間ができてしまう。



ご家族、近所の方々、地域のボランティアといったインフォーマルなつながりによりカバーしています。

花戸 貴司 先生 | 東近江市永源寺診療所

### 2. 総合病院への患者の集中

急性期から慢性期、難しい疾患から一般的な疾患まであらゆる患者が総合病院に集中し、地域の医療機関間の連携が効率的にできていなかった。



地域連携クリティカルパスを導入しました。難しい疾患の患者さんは総合病院に、慢性疾患の患者さんはかかりつけ医・在宅医にかかるようになりました。また、地域全体を一つの病院と考えました。三方よし研究会の提唱するまちづくりでもあります。

小串 輝男 先生 | 小串医院

### 3. 職種間の連携不足

行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会など、色々な職種が個々で集まるにとどまり、職種間の連携が取れていなかった。



大津市を7つのエリアに分けて多職種で集まり、エリアごとの問題点を考えていくhST(在宅療養サポートチーム)構想を進めています。

西山 順博 先生 | 西山医院

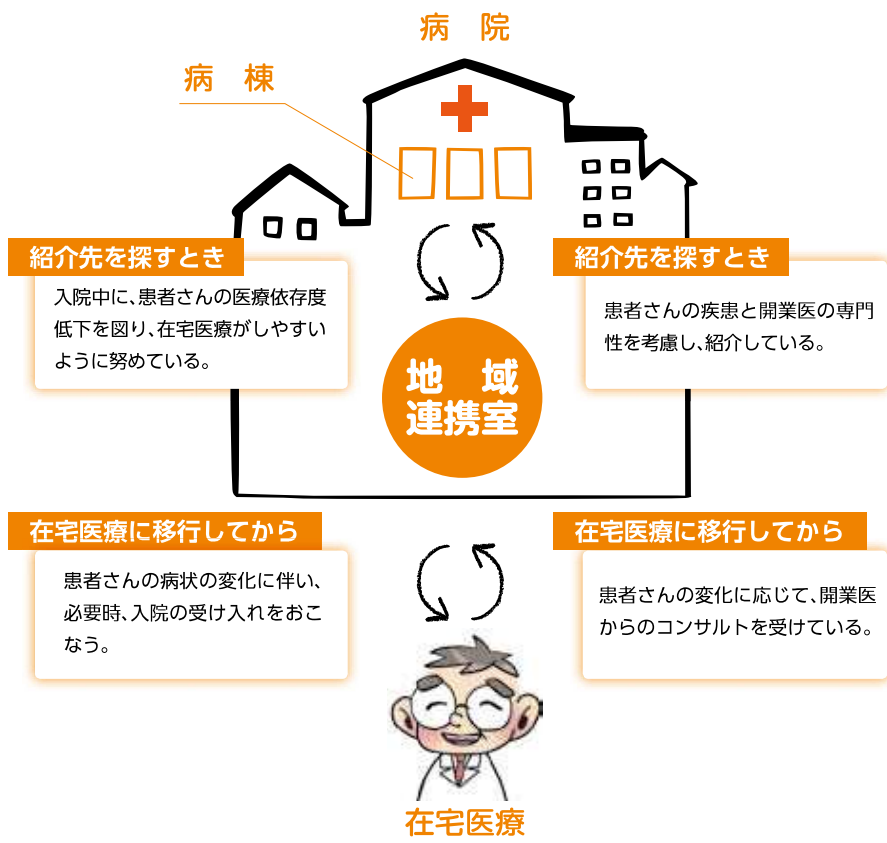
#### インタビューを終えて

在宅医療には始めてみないと分からない様々な障害がありますが、個々人の創意工夫や周囲とのつながり、何よりも「何とかしよう」という強い想いがあれば乗り越えていけるのかもしれないと感じました。



## 8 病院の地域連携室は何をしていますか？

患者さんの多くは、地域連携室より紹介されてきます。地域連携室と開業医の間で、どのような連携を取っているかお聞きしました。



### 在宅医療への期待

- 団塊の世代が75才以上となる2025年問題を考慮すると、在宅医療を必要とする人は増えるので、開業医さんも今まで以上に積極的に在宅医療に関わってほしいと思います。
- 地域連携室は、地域の医療機関と「顔が見える」「相談しやすい」関係を作っていくことで、より円滑な協力体制がとれると思います。

#### インタビューを終えて

在宅医療に向けて、地域連携室の具体的な取り組みが、よく分かりました。地域連携室と良い関係を築くことで、患者さん・ご家族により良い在宅医療を提供できるのではないかと思います。

2. よりよい在宅医療をつくる